

2020年1月6日

社長年頭挨拶

日本生命保険相互会社
社長 清水博

日本生命保険相互会社（社長 清水博）は、年頭挨拶として、社長から全役員・職員に向け、メッセージを送りました。社長からのメッセージの要旨は以下のとおりです。

2020年のスタートにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、低金利の継続等の厳しい状況をものともせず、計画に沿った取組みを力一杯進めていただきました。また、自然災害の被害に遭われたお客様に対する安否確認や、お見舞い訪問に奔走いただきました。生命保険会社の責任と社会的使命を果たすべく行動される皆さんを私は誇りに思います。

加えて、昨年は創業130周年を迎えました。すべてのお客様にあらためて感謝を申し上げたいと思います。1,100万人を超えるお客様からいただいた信頼の重さと、私たちの責任の重大さを全員で、心に強く刻みたいと思います。

今年は、次の2つのことを、全員が念頭に置いて行動することが必要です。

1つ目は、お客様本位の業務運営に徹することです。我々の経営基本理念である「信念・誠実・努力」の三信条を借りて言えば、「お客様の利益を最優先とする“信念”」を持ち、「お客様の声に耳を傾け、真摯に対応する“誠実”な姿勢」で「お客様のために不断の“努力”」を行うことです。

支社や営業部での、お客様本位の業務運営とは、お客様の立場に立った **Face-to-Face** の活動をひたむきに実践することです。ご家庭や職場を訪問し、お客様にお会いすること、お客様の話を一生懸命に聴くこと、保障を語り、お客様のご意向に沿った提案を行うこと、十分な説明を行い、加入手続きを正しく行うこと、お礼訪問とご契約内容確認活動を欠かさないことです。

また、必要に応じて上司に相談をすることも大切です。仲間と励まし合うこと、チームで結束すること、良質な組織を拡大すること、お客様と基盤を広げること、人材育成をすべてのベースに置くこと、以上のすべてが、お客様サービスの向上に確実につながります。

今申し上げたすべてのことを、お客様本位の業務運営における重点取組みとして、全員で徹底的に、実践してまいりたいと思います。

2つ目は、全員がイキイキと働くことができる職場づくりです。「お客様本位の業務運営」を徹底し、事業を更に発展させるために、7万人全員がイキイキと働き、存分に力を発揮できる職場を目指してまいりましょう。その職場とは、全員が自分自身を成長させるために努力を惜しまない職場であり、仲間に敬意を払い、尊重し、思いやりを持って支え合い、高め合う職場であり、誰もが自由に意見を述べ、相手の意見に寄り添う職場であり、課題と真摯に向き合い、組織の総力をあげて問題解決に取り組む職場です。

このような、より良い職場を作るには、管理職の方のリーダーシップが不可欠です。部下の方の意見をしっかり聴き、自由闊達な議論を行い、多様な人材が多彩に活躍できる職場を作りあげていただきたいと思います。一人ひとりに気配りをした心の通うコミュニケーションと納得感を生む対話をお願いします。

7万人全員がイキイキと働き、全員がお客様本位の業務運営に徹すること、それを実現することにより、成長し続ける事業基盤を作り、揺るぎないマーケットリーダーを目指してまいりたいと思います。

今年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。3月からは、全国を巡る聖火リレーがスタートします。全国各地のお客様とともに、ムーブメントの醸成と地域の活性化に引き続き貢献してまいりましょう。

2020年が、日本生命グループで働く全員にとって、輝かしい一年となることを祈念しています。

以上